

BIKE



RUN



アスリートたちよ
あの夏がくる!



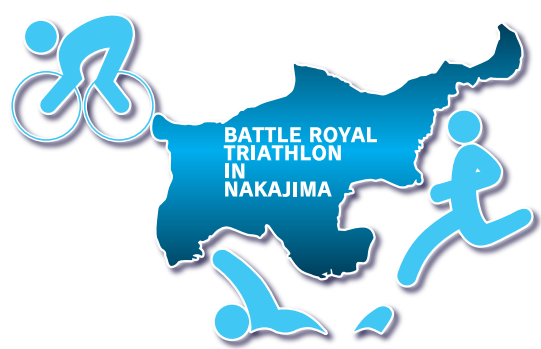
SWIM

2024年8月25日(日)

第36回トライアスロン中島大会

主催

松山市・松山市教育委員会・トライアスロン中島大会実行委員会





トライアスロン 中島大会

2023年 第35回大会 ランク別優勝者等の記録

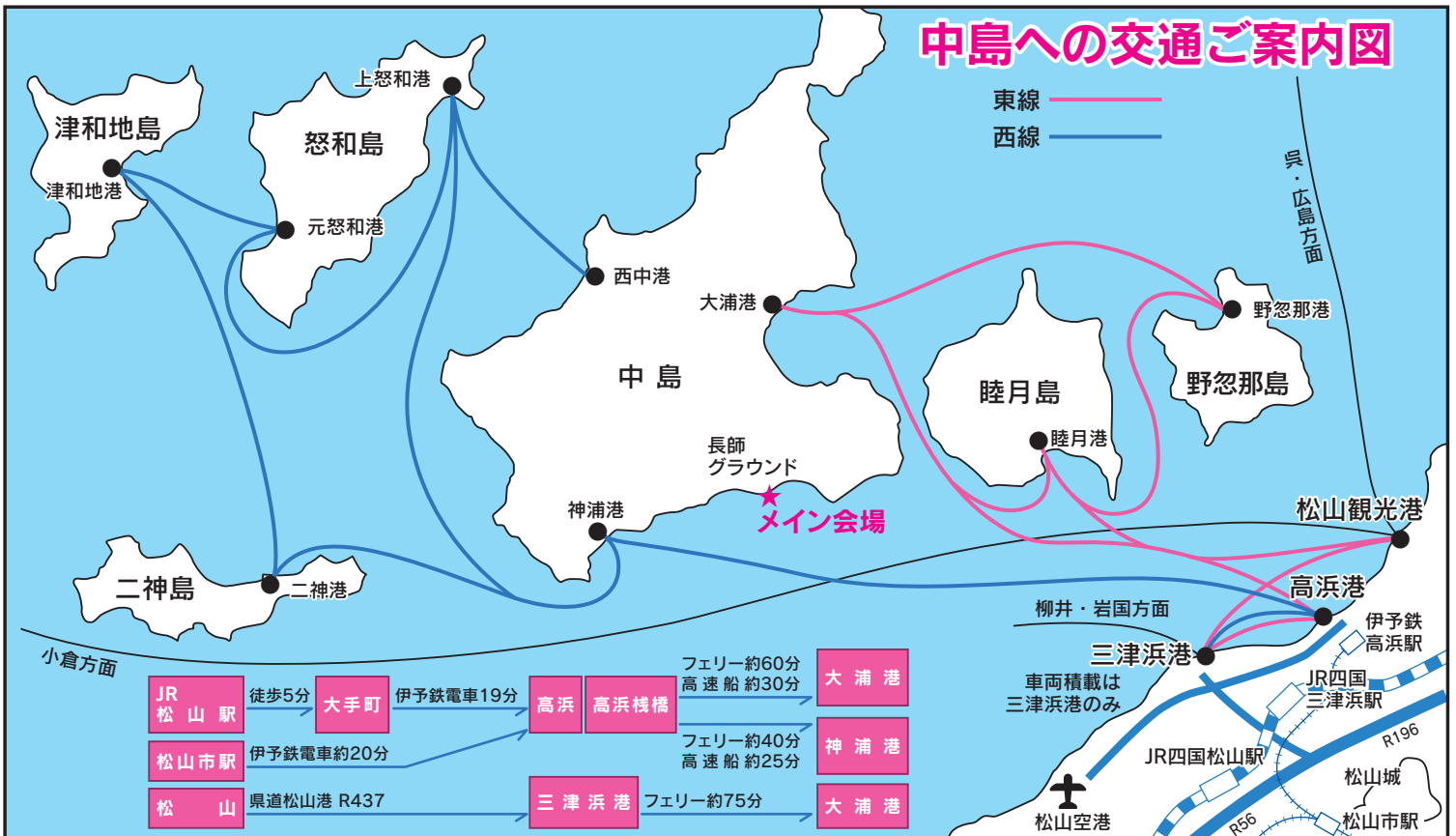


島の観光宣伝大使
しまぼう

〈男子総合の部 優勝〉	亀岡 貴史 (愛媛県伊予市)	2時間 07分 46秒
〈男子総合の部 2位〉	田中 寛記 (愛媛県松山市)	2時間 11分 29秒
〈男子総合の部 3位〉	中原 理行 (愛媛県松山市)	2時間 13分 49秒
〈男子 20歳代〉	柴田 大輔 (神奈川県大和市)	2時間 14分 27秒
〈男子 30歳代〉	嶋村 健太郎 (愛媛県松山市)	2時間 26分 28秒
〈男子 40歳代〉	山先 弘晃 (愛媛県伊予郡松前町)	2時間 14分 37秒
〈男子 50歳代〉	秦陽 一郎 (大分県大分市)	2時間 21分 42秒
〈男子 60歳代〉	鈴木 正美 (愛媛県松山市)	2時間 31分 08秒
〈男子 70歳以上〉	毛利 寛治 (愛媛県西予市)	3時間 19分 10秒
〈女子総合の部 優勝〉	吉村 真子 (愛媛県松山市)	2時間 52分 43秒
〈女子総合の部 2位〉	小笠原 美咲 (愛媛県伊予郡松前町)	3時間 02分 21秒
〈女子総合の部 3位〉	脇本 久美 (愛媛県松山市)	3時間 16分 40秒
〈女子 20歳代〉	土居 華夏 (愛媛県松山市)	3時間 17分 57秒
〈女子 30歳代〉	渡部 花都美 (愛媛県松山市)	3時間 30分 19秒
〈女子 40歳代〉	土井 千絵美 (愛媛県新居浜市)	3時間 28分 41秒
〈女子 50歳代〉	渡部 香 (愛媛県松山市)	3時間 20分 32秒
〈女子 60歳代〉	玉井 里美 (愛媛県東温市)	3時間 47分 29秒

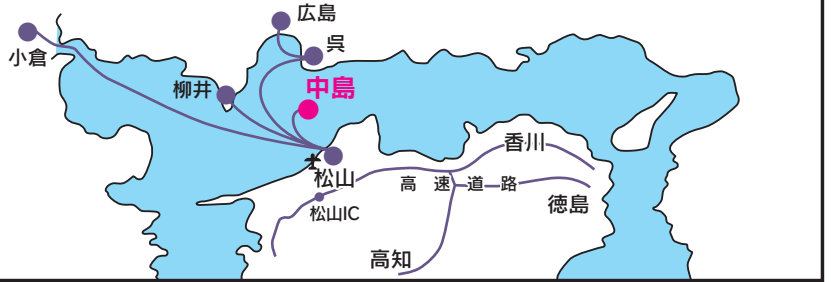
※この記録は前回のスイム 1.5km・バイク 40.0km・ラン 10.0km のものです。

中島への交通ご案内図



関西・中国・九州方面からのご案内

広島	高速船約 60分	松山観光港
	フェリー約 3時間	三津浜港
小倉	フェリー約 7時間	松山観光港



定期船時刻表

※高速船には自転車は乗り入れできません。
 ※高浜港、松山観光港では車・単車及び自転車の乗降はできません。

【松山→中島】 松山での車両の乗降は三津浜港のみ可能です。

路線名	三津浜港発	高浜港発	松山観光港	大浦港着	神浦港着
東線フェリー	6:55	7:10	—	8:15	—
東線高速船	—	7:23	—	7:48	—
西線高速船	—	7:40	—	—	8:06
東線高速船	—	8:30	—	9:00	—
西線フェリー	9:10	—	—	—	10:02
東線フェリー	10:10	—	10:30	11:30	—
西線高速船	—	11:40	—	—	12:06
東線フェリー	13:00	13:15	—	13:55	—
東線高速船	—	13:50	—	14:30	—
西線高速船	—	15:15	—	—	15:42
東線フェリー	15:50	16:05	—	17:10	—
西線フェリー	16:40	16:55	—	—	17:47
東線高速船	—	17:25	—	18:05	—
西線高速船	—	18:25	—	—	18:51
東線高速船	—	19:25	—	19:56	—
東線フェリー	19:10	—	19:30	20:14	—

【中島→松山】

路線名	大浦港発	神浦港発	高浜港着	三津浜港着
東線フェリー	5:40	—	—	6:40
東線高速船	6:35	—	7:15	—
西線高速船	—	7:05	7:30	—
西線フェリー	—	7:45	8:38	8:50
東線高速船	7:55	—	8:20	—
東線フェリー	8:35	—	9:45	9:57
西線高速船	—	9:11	9:36	—
東線フェリー	11:40	—	12:21	12:34
東線高速船	12:25	—	13:04	—
西線高速船	—	13:11	13:36	—
東線フェリー	14:10	—	15:20	15:32
西線フェリー	—	15:39	—	16:25
西線高速船	—	16:47	17:13	—
東線高速船	17:05	—	17:30	—
東線フェリー	17:30	—	18:40	18:55
東線高速船	18:45	—	19:14	—

※状況により、臨時便あり。

●船舶に関するお問い合わせは 中島汽船株式会社 ☎089-997-1221(代)

第36回 トライアスロン中島大会 募集要項

日 時

令和6年8月24日(土曜日)開会式・前夜祭
25日(日曜日)受付・
10:30 競技スタート

場 所

愛媛県松山市長師 姫ヶ浜他
(メイン会場：長師グラウンド)

競 技 内 容

- スイム… 1.5 km (1時間 20 分後コース閉鎖)
 - バイク… 40 km (3時間 00 分後コース閉鎖)
 - ラン… 10 km (4時間 00 分後コース閉鎖)
- 以上の3種目を続けて行う。

競 技 種 目

- 個人 スイム、バイク、ランを1人で行う。

参 加 資 格

平成16年8月24日以前に生まれた方(前夜祭当日、満20歳以上の方)で、スイム、バイク、ラン等の練習をし、完走できる自信がある方とする。

定 員

- 個人 350名程度
- 前夜祭 定員は設けない
(選手同伴者も参加可能)

※応募の際に、「前日入り」と「当日入り」の2種類の参加方法から選択して申し込みする。

《注意事項》

- 「前日入り」とは、前日から中島島内に宿泊して大会に参加すること。
- 「前日入り」を希望する選手は、
(
 - ・各自で宿泊先を確保すること。
 - ・前夜祭(別途前夜祭代が必要)への参加が可能。)
- 「当日入り」とは、大会当日に中島に渡って大会に参加すること。
- 「前日入り」・「当日入り」ともバイクチェックシートの提出が必須です。

通 知

申し込み時の前日・当日入りの応募状況を見て、実行委員会で審査・抽選により、参加者を決定し、5月下旬頃までに、全応募者に通知する。

参 加 費

- 個人 一人 20,000円
- 前夜祭代(選手同伴者も参加可能)
大人(中学生以上) 一人 3,000円
小人(小学生) 一人 1,000円

※未就学児は無料。

※参加費に前夜祭代は含まない。前夜祭に参加する場合は別途必要。

※選手参加費にはレクリエーション傷害保険料を含む。

※支払方法は7月上旬にメール等(請求書)で通知。

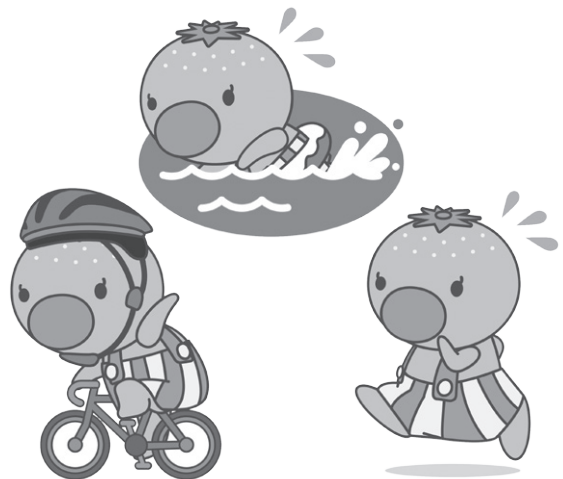
※地震・風水害・事件・事故・疾病等主催者の責によらない事由による開催縮小・中止の場合は、中止などを決定した時点で実際にかかった費用等を勘案して返金の有無・金額等を決定する。

表 彰

- 個人
 - 総合優勝(知事賞) 予定
 - 男子総合1～3位、女子総合1～3位、
 - 男子・女子
年代別1～3位 (20～29歳、30～39歳、
40～49歳、50～59歳、
60～69歳、70歳以上)

※年代別表彰について

- ・他表彰と重複しないものとする。
- ・令和6年12月末時点の年齢を適用する。
- ・スタート時のエントリー数が10名未満の場合は1位のみとする。



島の観光宣伝大使
しまぼう

申込方法・申込期限

●申込方法

募集要項及び競技規則を必読の上、オンライン申請。オンライン申請が困難な場合は郵送、FAXにて申し込みすること。

《留意事項》

オンライン申請は、松山市ホームページ上にある参加申込のURLを利用し、申し込みを行う。

受取確認のメールが送信されるので、確認メールが届かない場合は、必ず電話にて事務局に確認をすること。

●申込期限

令和6年4月30日(火)【厳守】 ※郵送の場合は4月30日(火)の消印まで有効

●申込書提出及び問合せ先

トライアスロン中島大会実行委員会事務局

〒791-4501 愛媛県松山市中島大浦1626番地 松山市役所 中島支所内

・TEL 089-997-1840(受付時間 平日8:30~16:30)

・FAX 089-997-1585

・E-mailアドレス trinakajima@city.matsuyama.ehime.jp

・松山市ホームページ <https://www.city.matsuyama.ehime.jp>

詳しくは



市HPのトライアスロンページ

トライアスロン競技日程

8月24日(土)	○ コース下見(希望者)	16:00~16:40	バス停(長師県道)出発
	○ 開会式・前夜祭	18:30~20:00	中島中学校 体育館(長師)
8月25日(日)	○ 競技参加受付	7:30~9:30	受付会場(長師姫ヶ浜)
	○ 自転車セット	7:30~9:30	グラウンド(長師姫ヶ浜)
	○ スタート	10:30	スイム→バイク→ラン
	○ 競技終了	14:30	
	○ 表彰式・閉会式	14:30~	グラウンド(長師姫ヶ浜)

コース図



凡例

- スイムコース 1.5km
コース間 0.375km×4(2往復)
- バイクコース 40.0km
コース間 10.0km×4(2往復)
- ランコース 10.0km
コース間 2.5km×4(2往復)



公益社団法人日本トライアスロン連合競技規則（JTURルール）と、同規則を基準としたローカルルール（トライアスロン中島ルール）を適用する。本規則に定めなき事案は関連競技団体の規則を準用する。

共通

1. 社会人として責任ある言動を心がけ、交通法規を守り一般車両や歩行者を妨げない。競技中以外でもバイク乗車時は常にヘルメットを着用しなければならない。競技中、競技以外に関わらず、ゴミを投棄してはならない。
2. 競技中にチームメイト、コーチ、家族など、選手個人の応援者から飲食物の提供や、直接的支援を受けることはできない。沿道に開設される地元応援者の私設エイドは支援を受けることができる。
3. 競技中に、携帯電話など通信機器および音楽プレーヤーなどを使用してはならない。ただし、携帯電話をスピードメーターのみに使用する場合はこれを認める。
競技中にカメラ等での競技風景等の撮影をする場合、大会主催者への事前申請が必要。
申請なき場合は、失格の対象及び画像没収とする。
4. スケジュール、競技規則、コースは選手自ら把握する。コースミスや事故、遅刻は選手の責務である。
5. 安全、公正な大会とするため事前に郵送した競技説明資料を必ず一読すること。
6. 適正なウェア、競技用具を使用する。フロントファスナーのウェアを暫定的に許可するが、ファスナーを閉めた状態で使用すること。危険と思われる用具、備品類を使用することはできない。
7. レースナンバー（ゼッケン）は、バイクでは背中、ランでは胸に、視認よく取り付け、変造を禁止する。レースナンバーベルトの使用を認める。ナンバーシールは、ヘルメット正面とバイクサドル下の左側に貼付する。ボディナンバーシールは原則として両腕上腕に貼る。
8. 各競技の周回数のカウントは選手自身が行うものとし、周回数の満たない選手は失格とする。（周回数が多い場合は失格とはならない）
9. 選手は、大会当日朝に健康状態をチェックした、セルフチェック用紙を当日受付に提出しなければならない。酒気帯びや体調不良の状態での競技をする事はできない。
10. 競技力不足、疲労、事故、制限時間オーバー、違反などの理由により審判員から競技の停止、中止を指示された場合は必ず従う。自主棄権を含む競技中止の際には、付近の審判員に計測チップ（アンクルバンド）を返却する。
11. スケジュールや競技内容の変更、案内は公式掲示板（フィニッシュゲート周辺）への張り出しとアナウンスで行う。

スイム競技 1.5km (750m×2周)

1. コースはブイでつながれた往復750mの直線コースを2周する。スタートはウェーブスタートで行う。
2. ウェットスーツ着用義務とする。JTURルールに適合する、体にフィットしたウェットスーツを着用する。損傷のある物は使用できない。ラッシュガードなどをウェットスーツの代用として使用することはできない。
3. スイムウォームアップは10時00分から10時20分までとし、ライフセーバーの指示に従いスタート地点から当日設定された圏内の海域で行う。
4. コースロープ、ブイ、船、レスキューボードなどの不動の浮力体に掴まっただけの小休止を認める。ただし、これらを利用して前進することはできない。
5. 救助を求める際は、片手を頭の上で大きくふり、大きな声で意思表示する。
6. 当日の海の状況や体調が不安な選手には、スイムをキャンセルしバイクからのスタート（スイムスキップ）を認める。希望者は10時30分のスタートフォーンの前までに大会本部又は審判に申し出る。その際にチケットを受け取る。以降のスキップは認めない。記録は参考としてリザルトに掲載するが順位は付かない。

トランジション

1. 競技中、トランジションには関係スタッフと選手しか入場できない。
2. 7時30分から9時30分の間に、バイクと用具をセッティングする。
3. 競技用品以外は設置できない。ただし他の選手を妨げない小型クーラーボックスを許可する。両サイド隣の選手との中間までを自分の範囲とし、はみ出して用具を設置してはならない。脱いだウェットスーツなど用具はきれいに片付け、通路などに放置してはならない。
4. バイクラックにバイクを掛ける方向は、バイクスタート時とバイク終了時では逆方向とする。スイムからバイクに移る時は、前輪を通路の方に向けサドルを掛けた状態からバイクをスタートする。バイクを終了しランに移る時は、前輪からバイクラックに入り（反転して後輪から入らない）サドルを掛ける。
5. トランジションでの乗車（片足乗車含む）を禁止する。
6. バイクスタートでは、ヘルメットをかぶりストラップを締めた後、ラックからバイクを下ろす。バイクフィニッシュでは、ラックにバイクを掛けた後、ストラップを外しヘルメットを脱ぐ。
7. バイクの乗車は、選手の片足が乗車ラインを越えた後に、完全に片足が地面についてから乗車しなければならない。バイク降車は、降車ライン手前の地面に、片足が完全に地面についてから降車しなければならない。
8. 競技終了後に、バイクと用具を引き取る事ができる。バイクに貼付のナンバーシールとボディナンバー・レースナンバー（ゼッケン）を照合して引き渡しを行う。

バイク競技 40km (20km×2周)

1. コースは、中島環状線を長師スタートにて吉木折り返しを2周する。
2. 自転車は、よく整備されたロードレーサー（TTバイク含む）マウンテン

バイク、クロスバイクを使用する。ヘルメットは、バイク競技用の硬質ヘルメットを、その取扱説明書に従い、正しく着用する。ペットボトルを給水ボトルとして使用する時は、ペットボトル専用のボトルケージ専用のボトルキャップで、緩みなく確実にホルドされた状態で使用する。

3. 自転車の車検は、バイクショップが点検を行ったバイクチェックシートの提出により車検に代えるものとする。
4. ドラフティング、ブロッキングを禁止する。
5. 競技者ドラフトゾーン：前輪最前部を基点として後方10m
キープレフトを厳守しセンターラインを越えてはならない。特に遅い競技者は、コーナーにおいても左側走行を心がける。速い選手は、追い越しの際は、後方の安全を確かめ、前方選手に声を掛けて追い越しの意思を伝え、右側から追い越す。追い越しのリスクは常に追い越す側の責務である。キープレフト違反が集団走行の原因になることを理解し、各々のレベルに相応しい走行ラインを守る。
6. コーナーや側溝など、注意箇所の看板やコーン、スタッフなどを注視し、その指示に従い進行する。
7. 競技中においても緊急車両の通過を最優先し、審判員の指示に従う。スタッフ車両の通過に際してもその指示に従う。

ラン競技 10km (5km×2周)

1. コースは、中島環状線の長師からJAえひめ中央中島支所までの往復5kmを2周する。＊交通規制は原則なし
2. キープレフトを遵守する。特に折り返し地点や環状線に出るまでの狭い道路は安全を最優先とし、無理な追い越しを行わない。歩道走行はしない。
3. エイドを、一往復につき4カ所設置する。飲料は水を基本とする。
4. フィニッシュはサングラスを外し、レースナンバーを整え、応援に応える。
5. 同伴フィニッシュは、別紙の待機場所により、スタッフの指示に従い、突起物や危険物を帯同せず、他の選手の競技に影響がないよう配慮して行う。

罰則と抗議

1. アドバンテージを得ない違反、軽微な違反、あるいはショートカットやドラフティングなどアドバンテージを得る違反、あるいはスポーツマンシップに反する言動、危険行為など、違反の内容により相応のタイムペナルティを課す。
2. 違反者には程度により、ペナルティボックスにて15秒以上のタイムペナルティを課し、指導、警告を行う。ランコースのトランジション側折返し付近に、ペナルティボックスを設けて、違反者のレースナンバーを掲示する。選手は自身で掲示を確認し、フィニッシュするまでにペナルティボックスに入り、審判員の指示に従う。ペナルティボックスに入らず、フィニッシュした場合、失格とする。
3. 選手には抗議（JTURルール第12章）を行う権利がある。その裁定になお不服があるときは、上訴（第13章）、仲裁（第14章）を、順次行うことができる。（※JTURルール参照）

制限時間

1. スイム競技を10時30分よりウェーブスタートした後、各所に制限時間を設ける。
(1) スタート後1時間20分：スイムフィニッシュ（上陸地点）
(2) スタート後3時間00分：バイクフィニッシュ（降車ライン）
(3) スタート後4時間00分：全競技終了（総合フィニッシュ計測地点）
制限時間に関わらず、著しく大会の進行を妨げる場合は、競技の停止、中止を指示する場合がある。

競技の変更・中止

1. スイムの環境が整わない時は、以下の順に競技内容を変更する。
(1) スタート時間を10分繰り下げて、スイムを1周に短縮する。
(2) スタート時間を20分繰り下げて、第1種目をラン5kmに変更する。
2. その他のケースについては、安全を最優先に、競技内容の変更、中止を検討する。

補足

1. パトライアスロンの参加者については以下の通りとする。
(1) ブラインド（視覚障がい：PTVI）
視覚障がいのある選手が該当し、「ガイド」と呼ばれる選手と同性の伴走者1名が、レース全体を通して伴走する。両者はスイム、ランのパートでは、テザーと呼ばれるガイドロープで繋がれ、バイクのパートでは、タンデムバイクを使用。視覚障がいのある選手が後席に座る。選手は、ガイドの声、気配、ガイドロープによって、進むべき方向などを判断する。
(2) トランジションエリアとハンドラー
ハンドラーとは、選手個人に割り当てられた支援者で、原則トランジションエリアで、ウェアや競技用具に関する支援を行うことができる。PTVIはガイドがハンドラーの役割を行うことができる。
＊原則、ハンドラーについては競技部にて用意する。
＊ガイドについては、事前申請が必要。